

表紙写真：参加者全員で頸肩腕障害予防のストレッチをしました

今号のピック

電話リレーと NET119 緊急通報はどちらが便利

■ 所長 西條保幸

どちらも無料で音声によらない緊急通報ができます。どちらが緊急時に便利なのか。急病のとき自宅等から通報する場合と、自宅外（旅行中など）から通報する場合に分けて比較してみました（なお、NET119を導入していない市町村も一部あります）。

自宅等からの緊急通報

電話リレーでは「電話リレー」→「緊急通報」→「119」と3回タップした後にオペレータと繋がり、手話等で正確な場所や状況（少なくとも火事か救急か）を伝えます。一人住まいで自分自身が苦しい場合でも正確な居場所と（消防車ではなく）救急車に来て欲しいことを伝える必要があります。一方 NET119 では、「NET119」→「通報する」→「救急」→「自宅」と4回タップすれば緊急通報され、救急車が来てくれます。これは、NET119ではスマホ上で「救急」の選択が出来ますし、自宅及びよく行く場所（職場など）を事前登録できるので、居場所の説明が不要なためです。軍配は NET119 に上がるかと思われます。

自宅外からの緊急通報

他県などに旅行中の場合はどうでしょうか。例えば移動中に急に具合が悪くなり、周りに人がいない場合。電話リレーでは「電話リレー」→「緊急通報」→「119」と3回タップした後、オペレータに場所や症状を手話又は文字で説明し、現地の消防本部から救急車の出動となります。一方 NET119 では「NET119」→「通報する」→「救急」→「外出先」をタップした後に周辺の地図画面が表示されるので、それを使って自分の居場所を正確に示す必要があります。更に詳細な説明を要する場合はチャット使用になります。また、現地（旅行先）の消防本部が NET119 をまだ導入していない場合は、緊急通報先は住所地（自宅）の消防本部になり、そこから旅行先の消防本部に連絡するので救急車の来るのが少し遅くなることが予想されます。軍配は電

話リレーに上がるかと思われます。

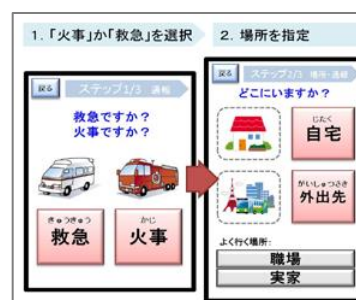
結論は

自宅等からの通報は NET119 が、自宅外からの通報は電話リレーがより便利ということになりました。電話リレーは 119 だけではなく 110 や 118 にも対応しており、また手話・文字の選択も可能と、汎用性に優れています。一方 NET119 は対象が消防に限られ、火事・救急がタップで選択でき、自宅等の事前登録が可能で場所の説明なく救急車が来てくれるという利点があります。また、写真送付機能、音声を通してまわりの人に知らせる機能、音で救急隊に居場所を知らせる機能、システムを練習する機能などがあり、消防に特化した専用アプリということになります。

少し面倒ではありますが両者を登録しておいて状況に応じて使い分けることをお勧めしたいと思います。

NET119 や110番アプリへの取り組み

センターではこれまで、電話リレーの普及には注力してきましたが、NET119 や110番アプリについてはあまり取り上げてこなかった気がします。今後は、自立支援拠点活動支援事業などを利用してこれらの便利さの周知や登録普及にも努めていこうと考えています。



NET119（出典：消防庁 HP）

研修会のご報告

1. 久しぶりのグループ討議 _____ 要約筆記者現任研修会 (聴覚障害者関係地域ボランティア事業)

5月21日(土)401会議室で、要約筆記者を対象とした研修会を開催し、45人の参加がありました。今回は、グループ討議による研修を行いました。「要約筆記のことをあまり知らない難聴者から要約筆記者に質問があった」という想定で、質問に対する回答をグループで討議しました。「要約筆記って何ですか」「どんな人がしているのですか」「誰でもどんなところでも使えるのですか」という実際に尋ねられそうな質問で、答えは次々とでてきます。話し合いながら各グループの回答として最後に発表しました。グループ分けは、地域や経験年数が偏らないようにしたので、日頃一緒に活動することのない他の地域の要約筆記者と討議する貴重な機会

となりました。要約筆記者として必要なことは、技術はもちろんのこと、難聴者や要約筆記に対する考えを今一度深め、意識の共有をはかることが大切だと改めて認識しました。



2. 手話通訳者の健康について _____ 手話通訳者現任研修会 (聴覚障害者関係地域ボランティア事業)

6月25日(日)きらめきプラザ301会議室で、手話通訳者を対象とした聴覚障害者関係地域ボランティア研修会を開催しました。86名の参加がありました。



午前は、一般社団法人全国手話通訳問題研究会健康対策部の部員として長年活動されている井田睦子氏に「手話通訳者の健康について」というテーマで講義いただきました。仲間や自分が手話通訳を続けるために

頸肩腕障害について学び、健康管理に努めることが大事であるとお話がありました。

午後は通訳実践を行いました。10人のろう者にもご協力いただき、グループにわかれて通訳者、手話が分からない聞こえる人の担当を決めて通訳をした後、振り返りを行いました。ろう者からも感想をいただきました。個人派遣の場合、自分自身だけの振り返りは難しい部分や限界があります。今回グループで考えることによって、自身では気付けない振り返りの視点を養うことができました。この研修会で、集団で学び確認しあうことの重要性を再認識しました。

ただ今開講中!

手話通訳士を目指して _____ 手話通訳士養成研修事業

5月20日から手話通訳士養成研修が始まりました。第1回目の講義は「障害者福祉の基礎知識」で、元筑波大学大学院教授・日本手話通訳士協会顧問の奥野英子先生にお越しいただきました。「障害者福祉」といえば膨大な範囲で、どこをどのように勉強すれば良いのか迷うところだろと思いますが、奥野先生の資料はとても分かりやすく、受験を控えている方たちにとって、『参考書』のようになったのではないかと思います。今年の手話通訳士試験は、

7月23日に学科試験があり、これに合格しないと10月1日の実技試験を受験できません。学科試験にむけて、「国語」「手話通訳のあり方」「聴覚障害者の基礎知識」と講義が続きます。

令和4年度の全国合格率は13.3%。狭き門ですが一人でも多く合格できるよう受講生も地元講師もがんばっていきます。



イベント お知らせ 参加費無料

いずれも手話通訳・要約筆記つき。参加費は無料です。

主催・申込・問合せ 岡山県聴覚障害者センター

FAX 086-224-0236 電話 086-224-0221 E-mail okatyo@kirameki-plz.com



※悪天候等の状況により、中止又は延期となる場合がありますので、センターのホームページのお知らせをご覧ください。

1

いぬかいぼくどう

文化講演会「犬養木堂が挑んだ近代日本の光と闇」

昭和6年12月、第29代内閣総理大臣に就任した犬養毅（木堂）。満州事変があり軍部台頭の中、民主主義のもとでの政党政治を求め、軍縮と産業立国を目指しますが翌年、五・一五事件で海軍青年将校らの凶弾に倒れます。木堂が挑んだ近代日本の光と闇とは。当時の時代背景を振り返りながらお話いたします。

- 日 時：令和5年9月17日（日） 13:30～15:00
- 場 所：岡山県聴覚障害者センター 研修室
- 対象者：どなたでも参加できます
- 申 込：「文化講演会参加希望、氏名、連絡先（FAX または電話番号）」をご記入のうえ、FAX またはメールで聴覚障害者センターへお申込ください

木堂の子孫には、世界的に活躍した有名人がいるよ！女性初の国連難民高等弁務官を務めた緒方貞子さん、朝ドラのヒロインを務めた女優の安藤サクラさんも！



2

電話リレーサービスについて一緒に学ぼう！

電話リレーサービスの仕組みや利用方法などをわかりやすく説明します。聴覚障害の方が電話リレーを利用するには事前登録が必要なので、この機会にぜひご登録ください。

- 日 時：令和5年8月20日（日）13:30～15:10
- 場 所：岡山県聴覚障害者センター 研修室
- 対象者：どなたでも参加できます
- 申 込：「氏名、住所、FAX 番号、電話リレーサービス地域講習会 参加希望」をご記入のうえ、FAX（086-224-0236）で聴覚障害者センターへお申し込みください。
- その他：一般財団法人 日本財団電話リレーサービスが主催し、岡山県聴覚障害者センターが協力

3

災害救援専門ボランティア研修会 「災害について学ぼう(仮)」

地震災害、台風、集中豪雨等による風水害・土砂災害など、私たちはさまざまな災害に見舞われやすい環境にあります。日頃から災害について学び、いざというときのために備えましょう。

- 日 時：令和5年9月24日（日）
13:30～15:30
- 場 所：きらめきプラザ 4階 401 会議室
- 対象者：登録手話通訳者、登録要約筆記者、聴覚障害者、聴覚障害者の福祉や防災に関心のある方

4

夏休み特別企画 のびのび子どもひろば

聴覚障害のある子もいない子も一緒に楽しもう！今年も工作をしたりお話をきいたり楽しい企画を用意しています。

- 日時：令和5年8月7日（月）
14:00～16:00
- 場所：岡山県聴覚障害者センター
- 内容：絵本の読み聞かせ、工作 ほか
- 申込：①保護者氏名、②電話番号、③参加するお子さんのお名前・ふりがな・学年（未就学児は年齢）を FAX またはメールで。



自主制作 DVD

聴覚障害者センターが企画・制作した3作品と撮影・協力した1作品をご紹介します。ライブラリーで貸出をしています。ぜひご覧ください。

◆「岡山県立森林公園」

鳥取県との県境で標高1000mの中国山地にある県立森林公園。春は、ミズバショウやザゼンソウの花が咲き、夏は、ナツバキやヤマアジサイなど可憐な花々の姿が見られます。秋は紅葉が美しく、園内で一番大きい



「もみじ滝」は美しい紅葉で彩られます。また、晴れた日の千軒平(せんげんだいら)からは蒜山や大山を望むことができ、見どころ満載です。

◆「設立15周年記念 センターふれあいフェスティバル」

センター設立15周年を記念して、2021年10月に開催した「センターふれあいフェスティバル」をDVDにまとめました(全3巻)。コロナ禍で当日参加できなかった方もぜひご覧ください。



パート1「記念式典」

開会挨拶、来賓挨拶、感謝状贈呈を収録。

パート2「記念講演」

早瀬久美さんに「目指した夢の向こう側」と題してご講演いただきました。早瀬さんは、聴覚障害者で薬剤師免許を取得した第1号であり、夏季デフ

リンピック2大会連続マウンテンバイクで銅メダルを獲得されています(2021年時点)。ご自身のことからユニバーサルデザインのお話まで、見応えのある70分の講演です。

パート3「発表会」

県聴障協の「クイズろう者の世界」、県要連の「岡山再発見の旅」、県難協の「フラダンス」、岡通研の「手話による劇・詩・歌」を収録しています。各団体の趣向をこらした発表をぜひお楽しみください。

◆「第6回文化講演会 至誠の人 山田方谷」



至誠とは「きわめて誠実なこと」という意味。方谷はその人柄から至誠の人と呼ばれました。備中松山藩の藩政改革を断行し、財政危機に陥っていた藩を立て直し、教育者として多くの優秀な人材を育成したことで知られています。

◆「ももたといぬっち」

県消費生活センター制作「動画で学ぶ消費生活」シリーズの第8弾。今回も聴覚センターが撮影や編集等で全面協力しています。紙芝居の読み手はフリーアナウンサー中村恵美さんです。



編集後記

センターでは、聴覚障害者の生活に役立つ「生活応援グッズ」の貸出を行っており、ホームページで紹介しています。最近悩ましいのは、製造中止になる機器があること。後継の機種や同じような機能を持つ新しい商品が販売されればいいのですが、そうならないものが結構あります。音声認識のポケットクミミは昨年販売を終了し2025年サービス終了。窓口等で活躍する筆談器「かきボンくん」も製造を終了しています。振動式体温計は一度販売を終了しましたが、別の機能を追加した新商品が販売されています。実は、ホームページに旧製品の振動式体温計の写真を掲載していたら、メーカーの方から新製品を紹介するお電話をいただきました(今は新商品の写真に変更しています)。大手メーカーの方だったので、こそこそとばかりに、貴社で聴覚障害者むけの商品開発を広げていただきたいとお願ひしました。便利な機器がもっと増えますように!

開館カレンダー

- ◆開館日 月・水～金曜日 9時～19時
土・日曜日 9時～17時
- ◆閉館日 毎週火曜日、国民の祝日、火曜日が祝日の場合その翌日も休館、年末年始

	日	月	火	水	木	金	土	
7月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
30	31							

	日	月	火	水	木	金	土	
8月			1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			

	日	月	火	水	木	金	土	
9月							1	2
		3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	